



(Japan Skipjack tuna Society)

平成 3 0 年 度

## 通 常 総 会 議 案 書

\*と き 平成30年7月7日(土) 11時00分～

\*ところ 東京海洋大学 越中島キャンパス

第4実験棟 大教室

東京都江東区越中島 2-1-6

TEL : 03 - 5245-7312

日本カツオ学会事務局

〒780-8073

高知市朝倉本町2丁目17-47 高知大学 地域連携推進センター内

TEL : 088-844-8734 FAX : 088-844-8556

E-mail : [katsuo@kochi-u.ac.jp](mailto:katsuo@kochi-u.ac.jp) [http : www.katsuo-gakkai.jp](http://www.katsuo-gakkai.jp)



(Japan Skipjack tuna Society)

## 通 常 総 会 次 第

1. 開 会

2. 会 長 挨 拶

3. 議 長 選 出

4. 議事録署名人指名

5. 議 事

第 1 号議案 平成 29 年度事業報告について . . . . . P.1

第 2 号議案 平成 29 年度収支決算報告について . . . . . P.4

第 3 号議案 平成 30 年度事業計画(案)について . . . . . P.6

第 4 号議案 平成 30 年度収支予算(案)について . . . . . P.8

第 5 号議案 その他

6. 閉 会



(Japan Skipjack tuna Society)

第1号議案

## 平成29年度事業報告

### 1. 概況報告

日本カツオ学会は、カツオに興味や関心を持つ、あらゆる人々が集い、各種の情報交換をはじめ、相互の交流と連携をもとに、調査研究を継続して行う機会、協働の図れる場づくりを目指して、産学官からなる発起人のもとに平成23年1月8日 高知県黒潮町で誕生した。

本学会は、会費収入を主たる財源としていることから、その後、徐々に発起人や関係自治体などを中心として、会員確保の活動を開始するとともに、カツオに関係する企業群にも本学会への参画について声掛けを進めて行った。

この結果、現状では(平成30年3月末)、個人会員134名、団体会員35団体、賛助会員5団体の会員登録を得るまでになっている。

「会報誌」の発行については、9月に1回発行を行った。

### 2. 平成29年度 カツオセミナー

平成29年7月8日(土)、宮城県気仙沼プラザホテルを会場に、「平成29年度カツオセミナー ～カツオによる復興と地域づくり～」を開催した。今回で第6回目のセミナーとなり、これまでは高知県高知市内を会場に開催しておりましたが、今回初めて高知県を離れて宮城県気仙沼市で開催させていただき運びとなりました。大学教員、水産関係者、食品産業従事者等、約70名の参加者が集まり、様々な情報交換の場となりました。

#### <プログラム>

##### 1) 開会挨拶【13:00～13:05】

川島 秀一 (日本カツオ学会 運営委員)

##### 2) 来賓挨拶【13:05～13:15】

菅原 茂 (気仙沼市長)

##### 3) 基調講演①【13:15～13:55】

「カツオ学の共創に向けて～地域資源としてのカツオによる連携と協働～」

若林 良和 (愛媛大学学長特別補佐、社会共創学部副学部長)

##### 4) 基調講演②【13:55～14:35】

「カツオの伝統的食価値を活用した新しい地域活性化」

久塚 智明 (㈱FBT プランニング 代表取締役)

##### <休憩>【14:35～14:50】



(Japan Skipjack tuna Society)

5) 特別講演【14:50~15:30】

「震災から6年目のカツオの漁況と課題」

熊谷 浩幸 (気仙沼漁業協同組合 魚市場部長)

6) 一般公演【15:30~15:45】

「常磐~三陸沖へのカツオ来遊量は何で決まるのか」

○西田 宏、清藤秀理、森永健司、小倉未基 (水産研究・教育機構 国際水研)

7) 総合討論【15:45~17:00】

「カツオによる復興と地域づくり」

若林 良和 (愛媛大学学長特別補佐、社会共創学部副学部長)

久塚 智明 (株FBT プランニング 代表取締役)

阿部 泰浩 (株阿部長商店 代表取締役社長)

小野寺 健蔵 (有)小野健商店 代表取締役社長)

司会: 受田 浩之 (日本カツオ学会 副会長)

8) 閉会挨拶【17:00~17:05】

若林 良和 (愛媛大学学長特別補佐、社会共創学部副学部長)

### 3. 役員会

- ・ 臨時役員会(メール会議)を平成29年9月15日(金)に開催し、下記の議案について、平成29年9月22日(月)全役員により承認された。

記

審議議案: 高知カツオ県民会議第2回シンポジウムへの共催について

審議事由: 高知県の県魚であり、地域を代表する食素材であるカツオを、地域の誇りとして将来にわたり維持していけるよう、高知に、そして日本にカツオを取り戻すことを目的として、平成29年2月9日に「高知カツオ県民会議」が設立されました。

つきましては、来る11月9日に、高知県民はじめ県内外の方々に、漁法や消費、食文化等さまざまな切り口から、資源としてのカツオの現状について理解を深め、守るべきカツオに対する認識を共有いただくために、高知カツオ県民会議第2回シンポジウムが開催されます。平成29年9月14日付けで申請のあった高知カツオ県民会議第21回シンポジウムへの名義使用に係る事業への共催及び当学会の平成29年度フォーラムとして位置づけることについてご審議をいただく。

- ・ 平成29年度通常役員会は、高知市にて平成30年3月29日(木)17:00から開催。



(Japan Skipjack tuna Society)

協議事項としては、

- ① 平成 29 年度事業報告について
- ② 平成 29 年度収支決算報告（見込み）について
- ③ 平成 30 年度事業計画(案)について
- ④ 平成 30 年度収支予算(案)について
- ⑤ その他

以上を協議し、通常総会へ諮ることとした。

## 5. 会報誌の発行

「会報誌」の発行は、本学会を広く広報するとともに会員確保の一助とするために、当初より計画して検討してきた。

9月の1回の発行となった。

なお、会報誌の概要は次のとおりである。

日本カツオ学会会報（第7巻 第1号）の概要・・・9月発行

- ① 日本カツオ学会の活動方針
- ② 日本カツオ学会平成 29 年度通常総会開催報告
- ③ 日本カツオ学会新会長ご挨拶
- ④ 平成 29 年度カツオセミナー開催報告

## 6. 共催・後援等

「第 6 回枕崎カツオマイスター検定」を計画している枕崎カツオマイスター検定推進協議会(会長：枕崎市長)から要請があり昨年に引き続き、共催した。

認定試験：平成 29 年 11 月 4 日（土）・5 日（日）

第2号議案

平成29年度 日本カツオ学会 収支決算書

【収入の部】

単位：円

費目	予算額	決算額	増減(△)額	説明
1. 会費	574,000	513,000	△ 61,000	
個人会員	114,000	93,000	△ 21,000	31件 × 3,000円 = 93,000円
団体会員	280,000	270,000	△ 10,000	27件 × 10,000円 = 270,000円
賛助会員	180,000	150,000	△ 30,000	5件 × 30,000円 = 150,000円
2. 雑入	9	4	△ 5	
雑入	9	4	△ 5	預金、金利他 4円
3. 繰越金	424,362	424,362	0	
前年度繰越金	424,362	424,362	0	前年度繰越し金 424,362円
<b>合計</b>	<b>998,371</b>	<b>937,366</b>	<b>△ 61,005</b>	

【支出の部】

費目	予算額	決算額	増減(△)額	説明
1. 事業費	648,200	653,120	4,920	
総会費	20,000	0	△ 20,000	
カツオセミナー費	200,000	210,280	10,280	7/8 カツオセミナー 210,280円
カツオシンポジウム費	350,000	384,640	34,640	高知カツオ県民会議への協賛金等 384,640円
広報費	58,200	58,200	0	学会HP年間ランニング費用 58,200円
会報費	20,000	0	△ 20,000	
2. 事務局費	78,000	41,129	△ 36,871	
事務経費	78,000	41,129	△ 36,871	振込手数料 7,992円 会報発行に伴う通信運搬費 外 33,137円
3. 予備費	272,171	0	△ 272,171	
予備費	272,171	0	△ 272,171	
<b>合計</b>	<b>998,371</b>	<b>694,249</b>	<b>△ 304,122</b>	

歳入歳出決算

【収入】

937,366 円

—

【支出】

694,249 円

=

243,117 円

を翌年度へ繰り越す。

# 監 査 報 告 書

平成29年度日本カツオ学会の会計監査の結果を下記のとおり報告いたします。

1 監査年月日 平成30年 5月 28日

## 2 監査結果

平成29年度 日本カツオ学会の収支決算について監査したところ、会計諸帳簿・証票書類等、いずれも正確にかつ適正に処理され不都合な点を発見せず、正当なものと認めたので報告します。

平成30年 5月 28日

監事 土佐清水市農林水産課長  
二宮 真弓 

監事 増崎 勝敏 



## 平成30年度事業計画(案)

日本カツオ学会は、平成23年1月8日の発足以来、6年目を迎え、カツオフォーラム、カツオセミナーを開催し、カツオ学会関係者並びにカツオ産業関係者の皆様が本学会活動を通じて、カツオの資源・経済・社会・文化など多様な価値を問い直すことを念頭に、次のとおり事業展開を行う。

### 1. 日本カツオ学会 平成30年度カツオセミナー ～カツオの価値と持続可能性を考える～の開催

学術関係者や企業人からの情報発信の場としてのカツオセミナーを開催

(1) 日時：平成30年7月7日(土) 13時から

(2) 場所：東京海洋大学 越中島キャンパス 第4実験棟 大教室  
(〒135-8533 東京都江東区越中島2-1-6)

#### (3) 概要

- ① 開会の挨拶：日本カツオ学会 会長 川島 秀一 氏
  - ② 基調講演①：小倉 未基氏 (国立研究開発法人 水産研究・教育機構 国際水産資源研究所 業務推進部長)
  - ③ 基調講演②：笹倉 豊喜氏 (フュージョン有限会社 代表取締役)
  - ④ 特別講演：受田 浩之氏 (高知大学副学長、高知カツオ県民会議 会長代理、日本カツオ学会 副会長)
  - ⑤ 基調講演③：鈴木 允氏 (MSC (海洋管理協議会) 漁業担当マネージャー)
  - ⑥ 一般講演：及川 貴史氏 (キッコーマンバイオケミファ(株))  
山本 憲司氏 (サントリーグローバルイノベーションセンター(株))  
網塚 貴彦 (長谷川香料(株))
  - ⑦ 総合討論：小倉 未基氏 (国立研究開発法人 水産研究・教育機構 国際水産資源研究所 業務推進部長)  
笹倉 豊喜氏 (フュージョン有限会社 代表取締役)  
鈴木 允氏 (MSC (海洋管理協議会) 漁業担当マネージャー)
- 司会：受田 浩之氏 (高知大学副学長、高知カツオ県民 会議 会長代理、日本カツオ学会 副会長)
- ⑧ 交流会：東京海洋大学 越中島キャンパス 食堂ホール (マリンカフェ)



(Japan skipjack tuna Society)

## 2. 「平成 30 年度カツオフォーラム in ○○」の開催

自治体や現場の声を反映する場としてのカツオフォーラムを開催  
和歌山県新宮市での開催を検討中

## 3. 会員の確保

地域・領域・学問・立場など様々なレベルを超えて、つむぎ合うために、  
全国のカツオに興味や関心を持つ多くの人に参加を呼び掛け、学会の発展を  
目指す。

また、年度の切り替え時期には、最も多い個人会員の人事異動などを考  
慮して、関係機関においては、会員の維持・確保に向けた対応を積極的に行  
っていく。

## 4. 恒常的事業

### (1) 日本カツオ学会ホームページの充実

平成 23 年 9 月に立ち上げた本学会のホームページの充実を図るとともに、  
会員相互の情報交換の場として活用、展開していく。

また、会員相互の情報交換に加えて、社会に発信すべきカツオの価値の再  
認識に繋がる活動や情報等、本学会が協力する他機関の活動も含めて学会  
ホームページを活用した発信を適宜行う。

### (2) 日本カツオ学会会報誌の発行

本学会活動を広く広報し周知を図るために、引き続き会報誌を発行する。  
発行回数は 2 回を目標とする。

### (3) 役員会及び企画委員会と編集委員会の開催

必要に応じて、臨時役員会や両委員会の開催を行う。

特に、企画委員会と編集委員会にあっては、メール会議等を活用して各  
委員に周知を図りながら、意見集約を行い、より多くの意見が結果に反映  
できるように対応していく。

## 第4号議案

## 平成30年度 日本カツオ学会収支予算書（案）

## 収入の部

単位:円

費目	前年予算額	予算額	増減額	説明
1. 会費	574,000	574,000	0	
個人会員	114,000	114,000	0	38人 × 3,000円 = 114,000円
団体会員	280,000	280,000	0	28団体 × 10,000円 = 280,000円
賛助会員	180,000	180,000	0	6団体 × 30,000円 = 180,000円
2. 雑入	9	4	△ 5	
雑入	9	4	△ 5	預金、金利他(H29年度実績額)
3. 繰越金	424,362	243,117	△ 181,245	
前年度繰越金	424,362	243,117	△ 181,245	
<b>合計</b>	<b>998,371</b>	<b>817,121</b>	<b>△ 181,250</b>	

## 支出の部

単位:円

費目	前年予算額	予算額	増減額	説明
1. 事業費	648,200	648,200	0	
総会費	20,000	20,000	0	平成30年6月～7月中旬開催予定
カツオセミナー費	200,000	200,000	0	平成30年6月～7月中旬開催予定
カツオシンポジウム費	350,000	350,000	0	フォーラム補助等 350,000円
広報費	58,200	58,200	0	HP維持費 58,200円
会報費	20,000	20,000	0	会報誌発行(10,000円×2回)
2. 事務局経費	78,000	78,000	0	
事務経費	78,000	78,000	0	通信運搬費 20,000円 監事旅費(1人分) 13,000円 土佐清水～黒潮町(1泊2日) 13,000円 消耗品等 45,000円
3. 予備費	272,171	90,921	△ 181,250	
予備費	272,171	90,921	△ 181,250	
<b>合計</b>	<b>998,371</b>	<b>817,121</b>	<b>△ 181,250</b>	